理研会報

発行
印教研　理科研究部
事務局
成田市立成田小学校
成田市幸町948の1

理科作品展報告特集

九月二十七日から二十九日まで、四街道市立中央小学校を会場に印旛郡市理科作品展が開催されました。今回は、数えて第三十六回作品総数　三〇一点。各部会から推薦された作品が所狭しと展示されました。ご協力ありがとうございました。

本号では、作品審査に当たられた先生方からの講評を頂きましたので、次年度の参考にして頂ければと思います。

科学工夫作品の部

寺内義雄

小学校の部（出品点数　七五）

今年は例年になく低調であった毎年小学校の部はアイデアに富んだ楽しい作品に感心させられていたが、今回は同じ作品・似た作品が多く、アイデア不足を感じた。

似た作品が三点出る。また、数年に渡って出るということは、源は同じで何かに紹介されたもののように思える。

アイデアを他から求めるのはかまわないし、全て自分で考えろとは言わないが、何の改良も特徴も盛り込まない作品を見るとよく似ているという感じを受ける。

審査員の言葉に「学年相応の作品が欲しい」という声もあった。

小学校の場合は親が手伝うことは良いことだと思うし、そうしないと完成しない場合もあるが、子どもの発想を中心にまとめ上げて欲しいものである。非常に良く似た作品が一年と四年から出てきて出来栄えも変わらないというようなことも例年見かける。

でも、このような事実もある。ある男の子が数字の表示板を作った。原理や仕組みは親にはわからないが、子どもの不器用な仕上がりと作動のまずさを母親が一生懸命修正し、作品展の前日まで学校に顔を出したそうである。

何れにしても、小学校の場合は指導者（親・教師など）の係わり方が大きな要因であるということは確かなように思う。来年度、期待したいものである。

中学校の部（出品点数　十六）

小学校がオモチャを工夫したり作ったりしているしている作品が多いのに対して、中学校は新案特許を目指したが作品が多いというのが特徴である。今後もこの方向は奨励していきたいものである。それが、創造性の豊かな人を多くし、日本の社会をより発展させるものと信じます。

科学論文の部

今井正臣

郡の理科作品展に科学論文として出品された作品は、小学校百一点、中学校四十一点です。その中で郡の代表として県の展覧会に出品されるのは小学校八点、中学校四点です。

その作品の優れている面をいくつか述べてみます。

一、動機、まとめ、資料が計画的である。

二、資料がねらいを証明するもので工夫されている。

三、二年、三年と長期間に渡って一つの問題をいろいろな面から追求している。

四、論文を読みやすく、自分の考えを重点的に示している。

県の作品展に出品する作品は、これらのことを十分に取り入れた作品でした。

多くの作品の中には、もう少しこの面をなおせばという作品が数多く見られました。その点を述べてみます。

◎小学校

①日常の授業の発展的な作品が好ましい。各々の学年の素材・教材を見直して欲しい。

②夏休み中だけでなく、周年的な長期間の観察から得たまとめが人の心を引く。

③資料を理解しやすく、表、グラフ等でまとめてほしい。

◎中学校

①まとめの不十分な作品が多い。

②参考文献の取り扱い方、一度自分の物として取り扱って欲しい

③理科の授業との係わりをもっと大切にしてほしい。

標本の部

佐藤光廣

今年度は五十七点の標本作品が出品されました。

◎今年度の傾向

例年同様、植物標本が多かったのですが、その中でも今年は、水生植物の標本が何点か見られ、仕上げもきちんとしていました。また、昆虫標本は年々少なくなってきていますが、出品されてきているものは技術的にもしっかりとしておりました。その他の岩石や貝化石等は点数は少ないのですが、きちんとした処理がなされていました。昆虫の標本の中で、体を部分毎に分けてとめてある作品がありましたが、標本本来の意味からいうと疑問が残りました。植物や昆虫類は大変種類が多いのですがその中で「シダの仲間」とか「蛾の仲間」とか、焦点化して採集した作品があり、目的がしっかりとしており、良かったと思います。

◎今後の課題

①標本として適切な個体を選ぶ

②きちんと乾燥し鮮明な色を出す

③必要最小限のとめにとどめる。

④ラベルをきちんと書く。

⑤種類を限定したり、場所を限定したりして、比べたり、対象を狭めたりする。

⑥その他、類似種を並べて比べたり、成長過程を追ったりする工夫も必要である。

来年度の作品を期待しています。

入賞者及び作品名

〈工夫工作の部〉

学年	氏名	作品名	学校名	備考
小1	米部　健司	ロケット本地（発射台）	小竹小	
1	山本　効蓉	ピカピカ　シーソー	洗心小	
1	根本千　香	むしをたべるカエル	六合小	
2	八嶋　俊一	おどるへび	交通小	
2	白月　秀和	ぶくぶくせんすいふ	内野小	
2	川嶋　知輝	ねことねずみのおいかけっこ	玉造小	都
3	宮下　徳雄	くし戦車	佐倉小	
3	岡澤　歩	じゃくのロープウェー	中央小	
3	伊藤　晋	ホーホーほたるこい	八木原小	
3	関口　真樹	電動モップ	臼井小	
3	岡田　綾子	森のくま	酒々井小	
4	上野　秀樹	からくりおしろ	四和小	
4	長野　靖	ロケット発射台	大日小	
4	木村友紀子	えさを食べるひよこ	洗心小	都
4	八嶋　亮	はんそう船	交通小	都
5	千倉　英明	クモの散歩	臼井小	
5	福原比左子	オルゴール	玉造小	都
5	並木　潤	郵便受け	二州小	
6	塩田　壮	文字盤	中央小	
6	東　剛史	手品師	中央小	
6	佐々木森紀	太陽高度計	臼井西中	
中1	栗田　聖代	冷却花びん	佐倉中	
1	津田　健人	スプレー缶穴あけ器	四街道北中	
2	辺見　好恵	自動水やり装置	四街道北中	
2	宮田誠司3ねん	小型プラネタリウム	佐倉東中	都

〈論文の部〉

学年	氏名	作品名	学校名	備考
小1	大木真由奈	あさがおのかんさつ	朝陽小	
1	戸津まどか	ふしぎなみず「ぺぺ、ちゃんぷる」	四街道小	都
2	大塚　光輝	糸電話のきこえ方しらべ	大倉台小	都
2	渡部　裕樹	氷のかんさつ	実住小	
3	川口　博司	大根の研究	西志津小	
4	井上　裕介	タンポポの研究	成田小	
5	菅沼　薫	ふえはなぜなるのか	南山小	
5	鄙見　明子	まきひげの働き	実住小	
6	横畑乃理子	ツユクサの観察	八木原小	
6	井上　陽博	雑草の研究4－植物の発芽と成長－	成田小	
6	須藤英奈子	千葉県の河口付近の塩分　性質調べ	船穂小	都
中1	青木朋貴ねん2ぐみ	表面張力の研究	千代田中	
1	柏谷　亮	「ヨリマ」「ヨリワシ」「ヨ」に与える影響と効果	四街道中	
2	斉藤　靖郎 森田　実	保温条件を決める保温材の材質と構造に関する研究	千代田中	
3	寺島祐治ねん1ぐみ	植物色素の研究	千代田中	都
3	大野守郎ねん1ぐみ	ダンゴムシの研究	七次台中	都
3	村田貴大ねん3ぐみ	水分による木材の変形のしかた	佐倉中	
3	武田　和仁	ブラックバスの反応	西中	都
13	理科部生物班	小名木川生物調査	四街道中	都

〈日本の部〉

学年	氏名	作品名	学校名	備考
小1	桜藤　敦子	おしばな	交通小	
1	中西　啓貴	しだ植物標本	鹿島台小	
2	山口　陽子	つるくさあつめ	小林小	
2	坂巻　祐穂	しょくぶつさいしゅう	酒々井小	
3	奥村　祥子	印旛沼・日光の植物採集	井野小	
4	山田　智也	昆虫採集	根木名小	
5	松本さやか	印旛沼の植物	王子台小	
6	武藤※郡ねん1ぐみ	貝化石の標本	永治小	
6	山田　真之	蛾の標本	根木名小	
中1	土屋英智子	植物採集	千代田中	
2	及川　若葉	身近な植物のおし葉標本	中台中	
2	斉藤政弘ねん2ぐみ	木下屋・上岩橋屋の化石標本	本埜中	
3	小林俊之ねん1ぐみ	植物標本	七次台中	

※標本は、県展に出品いたしません。
※備考欄に『郡』とある作品は、県展に出品いたしません。

県作品展は、10月29日（土）～10月31日（月）までの間、千葉県総合教育センター（科学技術棟）において展示されます。
なお、印旛支部より推薦された作品の審査結果については、次号でお知らせいたします。